

<b>事業概要</b>	<p>カネダは油を中心に多種多様な商材を取り扱う商社です。取扱商品別に「食品油糧、医薬品、化粧品、化学品、産業マテリアル」の営業部門から構成され、「専門商社の集合体」として主に原料素材の開発・提案・販売をしています。</p> <p>事業分野は多岐にわたり以下のように展開しております。 油脂、食品原材料、化粧品原料、医薬品原料、流動パラフィン、電子包装・物流資材、企画商品、塗料インキ・接着剤原料、潤滑油/燃料・潤滑油添加剤、受託・OEM</p>
<b>部署</b>	総務部
<b>所在地</b>	〒103-8413 東京都中央区日本橋本町1-4-12 カネダ日本橋センタービルディング
<b>連絡先</b>	(電話番号)03-5200-1311 (E-mail)shigeo-s@kaneda.co.jp
<b>環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像</b>	<p>カネダは環境配慮型商品の提案・提供を通じて地球温暖化の抑制、省資源、省エネルギー、自然環境保護など社会に貢献し、『Co・advance』の経営理念のもと共存し続けることのできる社会の実現を目指して活動してまいります。</p> <p>Co-Advance=共に前進し、発展し、向上しよう！</p>

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

分野 脱炭素／農林水産業・地場産品／サーキュラーエコノミー／健康・福祉／その他(フードロス)

## 2. 脱炭素

### 「次世代環境対策商品の提案」

カネダは、生分解性関連製品、地球温暖化抑制製品、天然由来製品、リサイクル関連製品等、地球温暖化の抑制に貢献する多種の製品を様々な分野に提案しています。環境配慮型商品の提案・提供を通じて、環境破壊リスクの軽減とサステナブルな社会実現に貢献致します。

## 3. 農林水産業・地場産品

### 「椿の保全活動」

カネダでは、良質な椿油生産地として知られる伊豆諸島・利島の椿産業の保全と活性化に協力しています。栽培環境の保全を通じて、陸の豊かさが守られ、生態環境の保護や周辺農家への支援、地域の活性化にも繋がっています。

## 4. サークュラーエコノミー

### 「廃油再生業者への販売」

油販売を通じ持続可能な生産と消費に取り組んでいます。

廃油は精製業者を介して飼料や化成品、バイオ燃料などに再生され、無駄なく循環。実績として年間で1300t以上の廃油を10年以上安定的に回収、再利用されています。

## 6. 健康・福祉

### 「健康に繋がる食品の開発・販売」

食を通じて健康となる社会の実現を目標に、製菓製パン向け低糖質素材の拡販及びバリエーション品の開発を行っております。又、カネダはオリジナルブランド製品で機能性表示食品『 $\alpha$ -リノレン酸オイル』を開発。販売を通じてお客様の健康とより良い食生活をサポートして参ります。

## 9. その他( フードロス )

### 「食品ロスへの取り組み」

端数や作り過ぎなど品質問題以外の理由で廃棄される予定となった食品を、新たな販売機会を創出するなどして、必要な方につなげる取り組みをしています。この活動を通じ、廃棄予定食品を減らして参ります。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	URL	総括URL: <a href="#">カネダのSDGs   お客様と共に   CSR (kaneda.co.jp)</a> 詳細URL: <a href="#">カネダビジョン[環境]   カネダ株式会社 (kaneda.co.jp)</a> <a href="#">椿の保全活動 Camellia Japonica Project   CSR (kaneda.co.jp)</a> <a href="#">カネダビジョン[食]   カネダ株式会社 (kaneda.co.jp)</a>
上記ソリューションを提供できる地域について	全国	
自者の特徴		<p>カネダは明治38年(1905年)の油屋開店以来、創業117年を誇りにして経営理念に「油で培った文化を基に、お客様のベストパートナーとして新しい価値の創造に挑戦します。」を掲げ食・健・美・環境のそれぞれの事業領域において「専門商社の集合体」として主に原料素材の開発・提案・販売をしています。</p> <p>当社は創業期より油を中心に商いをしている企業であります。商いを通して日本の貴重な油に接し、産地の現状に目を向ける中で、油産業の維持発展のために何かお役に立てることはないだろうかとの考えに至り、これまでも、『椿油』と『エゴマ油』の産地地域と協業を行って参りました。</p> <p>① 良質な椿油生産地として知られる伊豆諸島・利島の椿産業の保全と活性化に協力しています。栽培環境の保全を通じて、陸の豊かさが守られ、生態環境の保護や周辺農家への支援、地域の活性化にも繋がっています。</p> <p>② 島根県奥出雲町で遊休農地を活かしたエゴマ栽培による地域活性化事業を展開しました。本取り組みは内閣官房・内閣府総合サイト「地方創生」&gt;「企業版ふるさと納税ポータルサイト」の全国の特徴的な取り組みに選ばれ、令和3年の活用事例集にも取り上げられました。 機械の導入により収穫作業の効率化を実現し、エゴマを使った新商品を開発し、6次産業化の足掛かりにもなり、交流人口の拡大に寄与しました。</p>
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	—	

